

兵庫県がん診療連携協議会 研修・教育部会主催

『胃がんセミナー』～胃がん治療の現状とその将来～

日時：平成25年10月5日（土） 午後2時30分～5時

場所：兵庫県私学会館 大ホール

参加対象者：医師を含む医療関係者（看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線科技師など）

プログラム：

開会の挨拶 兵庫県がん診療連携協議会 議長 足立秀治

セッションⅠ 「診断」 「早期胃がんの内視鏡診断-最近の知見」

演者：大阪府立成人病センター- 消化管内科 副部長 上堂文也

司会：兵庫県立柏原病院 副院長 西崎 朗

セッションⅡ 「治療」現状とその将来

- 1) 内視鏡的治療 「胃がんに対する内視鏡治療の適応、治療の実際、合併症対策」

演者：佐野病院 消化器センター - 医長 蓮池典明

司会：兵庫医科大学 内科学上部消化管科 教授 渡 二郎

- 2) 外科的治療 「完全腹腔鏡下胃癌手術 - 標準化に向けた取り組み」

演者：神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野 金治新悟

司会：独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター - 外科医長 松下貴和

- 3) 薬物療法 「胃がん化学療法最新の話題 術後補助化学療法と進行再発-」

演者：兵庫県立西宮病院 化学療法担当部長 消化器内科部長 榎原啓之

司会：兵庫県立がんセンター - 消化器内科部長 津田 政広

セッションⅢ 「胃がん術後地域連携パス」の現状とその行方

演者：独立行政法人労働者健康福祉機構 関西労災病院 副院長 田村茂行

司会：公立学校共済組合 近畿中央病院 副院長 小林研二

閉会の挨拶 兵庫県がん診療連携協議会研修・教育部会長

公立学校共済組合 近畿中央病院 副院長 小林研二